

このコーナーでは、九州一の安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



宮崎県防災士養成研修
地域防災のリーダーに
過去最高人数が研修に応募



災害図上訓練の様子。参加者は班ごとに分かれ、地図上で危険箇所や避難経路などを協議しました

宮 崎県防災士養成研修が、8月18日と19日の2日間、野尻庁舎で開催されました。この研修は毎年県が実施し、防災や救命の知識を習得し地域防災のリーダーとなる人材を育成するもの。今回は市内外から53人が参加。災害図上訓練（D I G）や救命講習などの講習を通し、災害に関する知識や技能を学びました。防災士は、本年7月末現在で、県内の702人（うち小林市は36人）が認証を受けています。



永田町防災協議会避難訓練
地域住民と防災士、消防団員
が連携し防災訓練

永 田町防災協議会避難訓練が8月11日、永田町区運動場で行われました。あいにくの雷雨で、住民の避難訓練は中止となりましたが、宮崎県防災士ネットワーク西諸支部や消防団員による訓練を実施。防災士は地図を使って避難経路や危険箇所を検討するD I Gを行い、消防団のオートバイ部隊が情報収集訓練を行いました。永田町の小峰實義区長は「地域の安心安全を守るために、これからも連携して行いたい」と話していました。



防災士ネットワークの牟田昭三西諸支部長は「地域の訓練に積極的に参加したい」と話していました



市民活動支援センターからのお知らせ
まちづくりに貢献するNPOなどの活動を支援します
「NPO等の財政・運営基盤強化事業」を活用ください



この事業は、NPOなどの財政・運営基盤の強化を目的として、支援メニューを実施し、活動の活発化のため、NPOなどのネットワーク化を目指すものです。

ぜひこの機会に参加ください。

■支援メニュー

- ①各種講座開催（9月下旬開催予定）
連続講座「フェイスブック活用について」(仮)
- ②専門家派遣による個別指導（随時受付）

■対象者

市民活動団体など（NPO法人、地域組織、各種個人や団体）またはこれから活動を始めようとしている人

※詳細は問い合わせください。

◆申込・問

・小林市市民活動支援センター
（事業実施主体:NPO法人エコワールドきりしま）

TEL 27 - 3177 メール purumeria_mina@ecokiri.or.jp

協働により

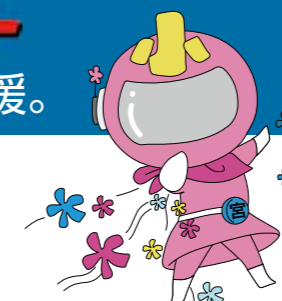
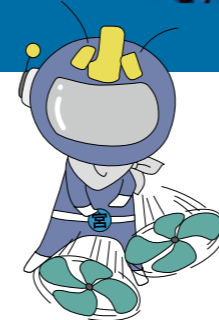
「九州一 安心安全なまち 小林市」

を目指して

こばやし協働

Info & News

小林戦隊
モリアゲルンジャー
も応援。

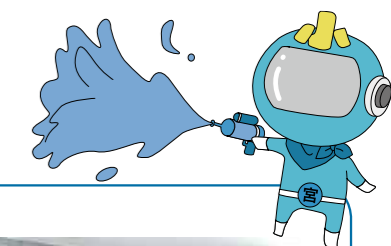


小林戦隊
モリアゲルンジャー

このイラストは、小林高校1年生海蔵楓寧さんが小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



早稲田大学政治経済学術院フィールドスタディ
協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」へ
早稲田大学政治経済学術院の学生が提案



8月12日、早稲田大学政治経済学術院の学生によるフィールドスタディ発表会が行われました。これは学生が8月7日から小林市に滞在し、視察や交流、体験を通じて、協働により「九州一安心安全なまち小林市」を実現するために、取り組むべきことをまとめたもの。

発表会では、「30年先を目指して 持続可能なまちへ挑戦」と題して5人の学生が登壇。将来人口推計では、平成47年の小林市の人口は約3万4,000人であることから、30



学生の発表に真剣に聞き入る参加者

年先も現在の人口を維持するために、みんなが一体となるテーマを掲げて、協働で取り組む必要があると発表。地域と学校と行政の協働による防災、防災リーダーの育成、地域情報と行政情報の共有、セーフコミュニティの認証取得の4つについて、その方法や効果を挙げ提案。「小林市には意欲ある民間団体と地域の絆があり、フットワークの軽い職員と、何より小林市が大好きな市民がいる。みんなが想いを共有しながら30年先も人口を維持し、協働により『九州一安心安全なまち小林市』を実現してほしい」と締めくくりました。



▲早稲田大学政治経済学術院の江上能義教授（右）と北川正恭教授（左）